



藤沢記者クラブ各位

令和5年の藤沢市年間観光客数・観光消費額が過去最高に！ ～1,960万人で前年から約260万人増～

令和5年の藤沢市の年間観光客数は、1,960万人となりました。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となったことや、外国人観光客数の来訪が増加傾向であったこと、例年、海水浴をはじめ、多くの観光客が訪れる夏季の天候が良好であったことなどの要因により、令和4年の1,700万人から15.3%増加し、コロナ禍前の水準(令和元年：1,929万人)を超える過去最高の観光客数となりました。

〈年間観光客数及び消費額(いずれも推計)比較〉

区分	R1	R2	R3	R4	R5	対前年比		
観光客数(人)	19,299,823	11,558,369	13,357,273	17,002,224	19,608,486	2,606,262	115.3%	
内訳	1～3月	4,242,899	3,802,079	3,120,043	4,160,764	3,952,016	△208,748	95.0%
	4～6月	4,159,771	906,574	2,793,788	3,642,893	3,697,130	54,237	101.5%
	7～9月	7,043,879	3,659,064	3,014,752	4,346,096	6,666,892	2,320,796	153.4%
	10～12月	3,853,274	3,190,652	4,428,690	4,852,471	5,292,448	439,977	109.1%
消費額(円)※	93,495,608,909	58,604,166,693	60,351,959,354	77,924,410,125	108,576,627,095	30,652,216,970	139.3%	

※消費額は、宿泊費、飲食費、レジャー費、お土産代を推計し、合計して算出したもの。

四半期ごとの主な増減要因については、別紙をご参照ください。

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 経済部 観光課
担当： 青木・坂野・寺谷・野木・田中
内線： 3421
直通： 0466(50)3531

《主な増減要因》

2023年（令和5年） 1月～3月	観光イベント・行事では1月の各寺社初詣客が令和4年と比べて約2倍増加したものの、令和4年は湘南海岸・江の島の1月の観光客が非常に好調だったため、観光客全体の数字で比較すると減少しており、微減となった。
4～6月	観光イベント・行事への参加者数が増加（期間中の主要イベントで前年比130%）した一方、湘南海岸・江の島の観光客は令和4年より減少傾向にあった。全体としては、令和4年とほぼ同水準であった。
7～9月	全体的に天候が良好であり、江の島の来島者が増加した。令和4年同時期には新型コロナウイルス感染症が爆発的に流行したこともあり、令和4年と比較すると観光客数は大幅に増加した。また、8月には中国から日本への団体旅行の取り扱い禁止措置が解除されたことも影響し、観光客数の増加につながったと考えられる。江の島サムエル・コッキング苑の入苑者についても7月で前年比254%、9月で前年比157%を記録するなど非常に好調であった。
10～12月	訪日外国人観光客が大幅に増加した影響もあり、好調な入込であった令和4年同時期と比較しても劣らぬ観光客数であった。また、日中における江の島サムエル・コッキング苑の入苑者や、江の島岩屋等の常設観光施設の集客状況も好調であった。